

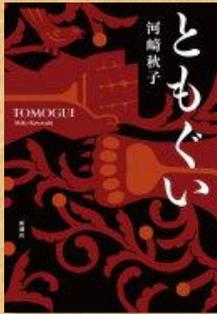
2024年

図書館貸出ベスト



今回は図書館で令和6年に貸出回数が多かった本を紹介します。まだ読んでいない方は、これを機にぜひ手に取ってみてください。(調査期間：2024年1月～11月)

一般書1位



『ともぐい』(河崎秋子)

明治後期、人里離れた南中で犬を相棒にひとり狩猟で生きていた熊爪は、血痕を辿った先で負傷した男を見つける。男は冬眠をしていない熊「穴持たず」を追っていたが…。

◆2位

『こちら空港警察』(中山七里)

◆3位(同率)

『一夜 隠蔽捜査 10』(今野敏)

『殺戮の狂詩曲』(中山七里)

児童書1位



『大ピンチずかん 2』

(鈴木のりたけ)

たんじょうびケーキがたおれそう! おべんとうをわすれた…。子どもが出会う世の中の様々な「大ピンチ」を大ピンチレベル順に紹介。

◆1位(同率)

『パンドロぼうとなぞのフランスパン』 (柴田ケイコ)

◆3位(同率)

『大ピンチずかん』(鈴木のりたけ)
『パンドロぼうとほっかほっカー』
『パンドロぼう おにぎりぼうやのたびだち』

『パンドロぼう vs にせパンドロぼう』

(上記3冊全て柴田ケイコ)

番外編 予約本ランキング!

本の取り置き(予約)の回数が多い本のランキングです。予約が終わるまで棚に並ばない人気の本ばかりなので、棚で見かけたらぜひ手に取ってください!

◆予約1位

『ともぐい』 (河崎秋子)

予約1位も貸出1位と同じ「ともぐい」でした。直木賞受賞後に予約が殺到しました。

◆予約2位(同率)

『一夜 隠蔽捜査 10』 (今野敏)

『変な家 2』 (雨穴)